

1 県民誰もが文化に親しみ、身近に感じることのできるみやざき

- (1) 県の施策 県立文化施設の運営、アウトリーチ事業、障がい者芸術文化支援センターの設置
- (2) 成果目標 初心者や子どもも含め、県民誰もが文化に親しむ機会の充実
- (3) 成果指標 日頃から文化に親しむ県民の割合を75%に上昇
R7実績（72.7%） 上昇はしたが、現時点では目標に届いていない。
R4（70.6%） → R5（72.0%） → R6（73.3%） → R7（72.7%）
- (4) 課題 遠くてアクセスできない、魅力的なイベントの増加、情報発信の充実、文化に親しむ余裕がない

2 県民が文化活動の主体となり、その能力を十分に発揮するみやざき

- (1) 県の施策 宮崎県芸術文化協会への補助、アーツカウンシルみやざきの設置
- (2) 成果目標 文化活動に主体的に取り組む県民への支援
- (3) 成果指標 日頃から文化に親しむ県民のうち、自らの活動により親しんでいる割合を30%に上昇
R7実績（15.7%） 上昇はしたが、現時点では目標に届いていない。
R4（14.4%） → R5（14.1%） → R6（15%） → R7（15.7%）
- (4) 課題 子供の頃からの文化体験の不足、身近な場所でのイベントや体験増加、少子高齢化等による活動継続の難しさ

3 県民がふるさとの文化に誇りと愛着を持つみやざき

- (1) 県の施策 各種講座の実施、若山牧水賞、神楽の保存・継承・PR
- (2) 成果目標 県民が郷土の文化を学ぶ機会の充実
- (3) 成果指標 神話・伝承、ゆかりの地、神楽等が「みやざきの宝」とであるという認識が県民に広がったと思う人の割合を65%に上昇
R7実績（63.4%） 上昇はしたが、目標に届いていない。R2(61.01%)
- (4) 課題 若い世代への伝統継承、県民が地域の文化を学ぶ機会の充実、県外へのみやざきの文化PRの強化

4 県民が文化を通じて連携し、地域に活力が生まれるみやざき

- (1) 県の施策 ひなたの文化活動助成、文化を活用した地域振興の取組
- (2) 成果目標 文化と他分野との連携の推進
- (3) 成果指標 文化に期待するものとして、「産業経済」「福祉」をあげる人の割合の増加
R7実績：産業経済 → 19.6%（目標32%） 福祉 → 30.1%（目標50%）
いずれも前回より減少している。R2（経済27.73% 福祉40.76%）
- (4) 課題 ひなたフェスのようなイベントの検討、連携事例の周知・支援